

令和7年度第3回神奈川県公立高等学校協議会
議 事 録

- 1 日 時 令和7年8月26日(火)
10時00分～10時40分
- 2 場 所 神奈川県自治会館8階 805・806会議室
- 3 出席委員等 田沼 光明 竹内 博之 柏木 照正
川名 稔 永川 尚文 岡田 直哉
宮村 浩文 山本 大(代理) 鈴木 史洋
田中 賢 渡貫 由季子
山崎 裕子

(敬称略)

座長（田中委員）

定刻となりましたので、「令和7年度第3回 神奈川県公私立高等学校協議会」を開催いたします。私学振興課長の田中です。前回に引き続き、座長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

本日は御多用の中、お集まりいただきありがとうございます。本会議は、原則公開とされています。取材、傍聴者等につきましては、既に入室されていますので、御承知おきください。

なお、本日は川崎市教育委員会 新田憲委員は御欠席ですが、代理で山本指導課担当課長に御出席いただいております。また、神奈川県公立中学校長会の代表 小林祐樹オブザーバー、神奈川県立高等学校長の代表 會田勉オブザーバー、神奈川県私学保護者会連合会の代表 加賀美博之オブザーバーが御欠席となっております。御承知おきください。

議事に入ります前に、「かながわ教職員組合連合」及び「神奈川県高等学校教職員組合」から、8月22日付けで当協議会あての申し入れ文書が提出されています。文書の写しを机上にお配りしておりますので、御確認ください。

また、本日、取材に来られております神奈川新聞社様より、会議冒頭の写真撮影の希望がありましたので、皆様の御協力いただいてもよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

座長（田中委員）

それでは、神奈川新聞社様、よろしくお願いいたします。

（写真撮影後）

それでは、お手元の「次第」に従って、議事を進めていきます。議題は、前回に引き続き「令和8年度の『高等学校生徒入学定員計画』の策定について」です。前回もお話しいたしましたが、例年当協議会において、翌年度の公私の入学定員について協議を行い、公私間での合意を得た上で、その結果を神奈川県公私立高等学校設置者会議に報告しています。

協議に入る前に、前回の会議における議論を整理いたします。前回の会議では、令和7年度入学者選抜の結果が報告され、出席者の皆様から結果についての評価や御意見をいただきました。

その上で、令和8年度の定員目標の設定方法について、昨年度に引き続き、「公私各々が実現を目指す定員目標を設定する方式」によることを確認しました。

定員計画の内容については、時点修正を除き、昨年度の定員計画から文言の修正などの御意見はなく、公私の具体的な定員の目標数値については、それぞれが持ち帰り、御検討いただくことになりました。以上が前回会議の振り返りとなります。ここまでで何か御質問等ございますか。

全委員

意見なし。

座長（田中委員）

それでは議題に入ります。令和8年度の「高等学校生徒入学定員計画」の策定について、公私それぞれから定員の目標数値を御報告いただきたいと思います。

また、目標設定の考え方や実現に向けた取組等があれば、併せて御説明ください。それではまず、私学側からお願いします。

田沼委員

私学側といたしましては、県内公立中学校卒業予定者数の推移があまり変わらないということから、去年と同じ程度の目標設定が妥当ではないかなということで、14,900人程度を提案したいと思います。

私学としては、去年は入学者数全体では目標値を満たしておりますけれども、県内の公立中学生ということでは目標に届かなかった面もありますから、努力を続けて、来年度は目標設定した数の入学者をお迎えしたいと思っております。

座長（田中委員）

それでは続きまして公立側から御報告をお願いします。

渡貫委員

令和8年3月の公立中学校卒業予定者数が、前年とほぼ同数ということで見込まれていますので、公立側としては、増減なしの39,300人程度を目標とする数字でお願いしたいと思います。

座長（田中委員）

ありがとうございます。ただいま、公私それぞれから定員の目標数値について、14,900人、39,300人という数値を御報告いただきました。ここで、公私それぞれの数値目標について確認していただくため、会議を一旦休憩にしたいと思いますが、何か御意見等あれば御発言をお願いします。

竹内委員

よろしいでしょうか。公立でも私学でも、昨年度策定した計画と同じ数の目標設定ということで発表があったわけですが、全日制進学率が一体どれくらいになるのか不安も感じます。

県外などへの流出なども、考慮して検討する必要もあると思いますので、全日制進学率がどの程度となるかを計算できませんか。

座長（田中委員）

事務局で、ただ今公私それぞれから報告いただいた数字で全日制進学率がどの程度と

なるか計算をお願いします。

事務局

少々お待ちください。

(計算後)

事務局から御報告させていただきます。ただいま御報告のありました、公立39,300人、私学14,900人、県外の全日制高等学校への進学者の割合を直近7年間平均の8.16%で計算しましたところ、全日制進学率は89.86%となります。以上です。

座長（田中委員）

事務局からの報告のとおり、公私それぞれから報告のあった目標値ですと、全日制進学率は89.86%となる見込みということです。これについて御意見等あればお願いします。

竹内委員

よろしいですか。広域通信制高校への進学者が増えているとはいえ、やはり目標値としてはこれまでも全日制進学率は90.0%以上を目指していたかと思しますので、これまでと同程度くらいは目標設定した方がいいように思います。私の意見ですけれども、どう思いますか。

座長（田中委員）

これについて御意見あるでしょうか。

田沼委員

そうですね、89.86%も概ね90%ということではあると思うのですが、これまで90%を目指していますので、検討が必要かとは思っています。

竹内委員

ここで妥協してしまうと、またこれからも全日制進学率がますます下がっていつてしまうのではないかという不安もあるわけで、検討させていただきたい。

渡貫委員

これまでこの協議会では、公私あわせて全日制進学率90%以上になるように目標を設定してきたという経緯を鑑みますと、90%以上を目指して再検討する必要があるかと思えます。

座長（田中委員）

それではただいまそれぞれの目標数値と、それに対する御意見として、全日制進学率90%を目指して検討したいという御意見もいただいたところです。これを踏まえまして、公立、私学それぞれに別の控室を御用意していますので、そちらに移動していただいて、数値目標について御確認いただきたいと思います。ただいまから10分程度休憩としまし

て、検討の時間に充てたいと思います。10時20分頃再開をいたしたいと思いますので、またこの部屋にお集まりください。一旦休憩とします。

休 憩

座長（田中委員）

それでは、協議を再開いたします。提案された定員目標値について、改めてそれぞれから御意見を伺いたいと思います。私学側の委員からお願いいたします。

田沼委員

協議をいたしました。目標定員を増やさなければ、全日制進学率90%の達成というのは非常に難しいと思いますので私学側としては、全日制進学率90%を目指すために目標値を増やしたいと思います。一方で、昨年度目標も達成できてないという状況を踏まえますとそう多く増やすということもなかなか難しいということで、14,950人程度を提案したいと思います。プラス50人の14,950人程度ということでお願いしたいと思います。

座長（田中委員）

続いて公立の委員はいかがでしょうか。

渡貫委員

公立としましては、昨今の入学者選抜の状況は厳しい数字であると認識しているところではありますけれども、例年、目標として全日制進学率90%以上と掲げていたことを踏まえて、先ほどの定員目標39,300人程度から50人増やして、39,350人程度を目標とする数字としたいと思います。

座長（田中委員）

公私それぞれから御報告をいただき、私学側から14,950人、公立側から39,350人という数字をいただきました。休憩中に、私学、公立ともにそれぞれの目標値について御検討いただきましたが、全日制進学率90%以上とするために、公私の目標値を当初の目標値からそれぞれ50人ずつ増やす御提案をいただきました。

この提案を踏まえて、全日制進学率の割合がどのくらいになるか、事務局で計算をお願いします。

事務局

ただいま計算します。

(計算後)

事務局から御報告させていただきます。公立39,350人、私学14,950人の目標とし、先程と同様に県外等の進学者の割合を8.16%で計算した場合、全日制進学率は90.01%になります。以上です。

座長（田中委員）

公私それぞれ目標値50人ずつ増やす提案があり、この目標が達成されれば全日制進学率は90.01%となり、90%以上となることが確認できました。この数値等を受けて、御意見あればお願いいたします。

竹内委員

よろしいですか。休憩を挟みまして公立側も目標値を50人増やしていただけたということで少し驚きもあるのですが、今の発表では公私ともにプラス50人ということですよ。新たな提案になるので、最終確認のためにもう一度検討の時間をもらえないでしょうか。

座長（田中委員）

竹内委員から、再検討の希望がありました。いかがでしょうか。

全委員

異議なし。

座長（田中委員）

御意見がないようですので、それでは、新しい目標数値をいただいて、全日制進学率が90%に達することを確認したところですので、それぞれで再検討いただくために休憩としたいと思います。公立、私学それぞれに先ほどの控室に移動していただいて、再度提案のあった数値目標等について最終確認をいただきたいと思います。ただいまから10分程度休憩といたします。再開10時35分を目途としますので、それまでにこの部屋にお集まりください。よろしくお願いいたします。

休 憩

座長（田中委員）

それでは、協議を再開いたします。

1回目の休憩後に提案された定員目標数について、それぞれから御意見を伺いたいと思います。私学の委員からお願いいたします。

田沼委員

公立、私学ともにプラス50人で全日制進学率90%となりますので、これについて異議ございません。

座長（田中委員）

公立の委員はいかがでしょう。

渡貫委員

私立、公立お互いに50人ずつ増することで全日制進学率90%以上の目標値となりますので、妥当な数字だと思います。

座長（田中委員）

ありがとうございます。それでは私学の定員目標14,950人、公立の定員目標39,350人、これを元に算出した全日制進学率90.01%ということ踏まえまして、改めてそれぞれから御意見を伺いたいと思います。私学の委員からお願いいたします。

竹内委員

私学側が100人増やさなければいけないかな、という思いもありましたが、よかったですと思います。私学も目標達成のために頑張ります。

座長（田中委員）

公立の方はいかがでしょうか。

渡貫委員

厳しい数字であると認識していますが、やはり全日制進学率90%以上を目指すことが本協議会のこれまで取り組んできたことでもありますので、目標に対して適正な数値であると考えています。

座長（田中委員）

3市の皆様いかがでしょうか。横浜市さんいかがでしょうか。

宮村委員

横浜市といたしましても、全日制の進学率90%という定員設定ということで妥当ではないかと考えております。

座長（田中委員）

川崎市さんいかがでしょうか。

川崎市 山本指導課担当課長

川崎市も同様、目標に対して適正な設定だと考えます。

座長（田中委員）

横須賀市さんいかがでしょうか。

鈴木委員

横須賀市も妥当な数だと思います。

座長（田中委員）

では最後の確認をいたします。公立の定員目標39,350人程度、私学の定員目標14,950人程度ということになりますますがよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

座長（田中委員）

ありがとうございます。これによりまして「資料3」の5ページの空欄としている部分がありますが、ここに公立の定員目標は「39,350人程度」と記載し、私学の定員目標は「14,950人程度」と記載することといたします。

合意文書案について他に御意見などありますでしょうか。

全委員

意見なし。

座長（田中委員）

それでは、議題のまとめに移らせていただきます。ただいま公私の双方から提案された定員の目標数値及び合意文書の内容につきまして、御了解をいただきました。これを踏まえて令和8年度の定員計画を最終的に整理いたします。

本日の協議によって、定員目標に係る公私間の合意が整ったところですが、9月5日に開催を予定しています「神奈川県公立高等学校設置者会議」の中で、座長である私から報告をしまして、そこで定員計画の最終決定としたいと思えます。

なお、最終的な文書の案や形式に微調整が生じた場合は、恐縮ですが私に御一任いただければと思えますがよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

座長（田中委員）

それではこの議題はここまでといたしまして、次第の「2 その他」がございますが、皆様から何かあればお願いいたします。

竹内委員

ひとつよろしいですか。全日制進学率90%を超えようと、公私とも同じ想いでいるわけですから、秋からの説明会で全日制の魅力を伝えるために私学も頑張ります。公立さんも大いにアピールをしていただいて、お互いに頑張りましょう。

座長（田中委員）

他にございましたら御発言をお願いいたします。よろしいでしょうか。それでは、こ

れをもちまして令和7年度第3回の神奈川県公立高等学校協議会を終了いたします。
皆様ありがとうございました。